

資料 2

2022年12月16日

町・病院における課題

 株式会社 **ユアーズブレン**
〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-3-29 3F
TEL 082-243-7331 FAX 082-249-7070
URL <http://yb-satellite.co.jp/>

① 少子高齢化による人口減少

南部町の将来入院患者推計では、2045年には、入院患者数が大幅に減少し、現在の8割程度の患者数になると考えられる。しかし、入院患者数の減少は段階的で、2030年までは緩やかに、2030年以降は加速度的に減少する。

② 地域包括ケアシステム強化の必要性

町内には1つの病院と3つの医科診療所があり、医療資源の効率的な活用がますます重要となる。一方、地域包括ケアシステムを支える住居機能（老健、サ高住等）がなく、退院患者の多くは、町外の間施設を利用している。

①病床機能の検討の必要性

前記、人口減少への対応にする必要があり、経営戦略を2つに分け、以下の戦略を遂行する必要がある。

➤ 第1期：2030年まで

病床数は現状維持し、病床機能の見直しや増患対策を行う戦略

➤ 第2期：2030年以降

患者数が大きく減少傾向に転じるため、病床削減も視野に入れた戦略

②精神科機能の活用

精神科の地域移行の進展に伴い、在院日数が短縮され、延患者数は減少する。身体合併症に対応できる当院の機能をより活用する戦略が必要である。

③介護療養病床の転換先決定

介護療養病床は2023年度で廃止されるため、転換先機能の検討が必要である。